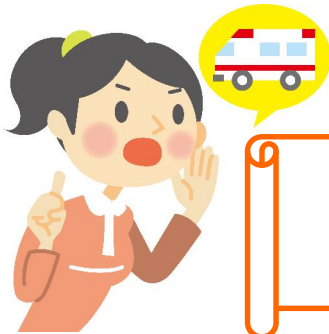


井上病院 伝言板

第239号 平成29年9月

井上病院 理念

医療を通じ地域の方へ安心を提供すること
絶え間ない質の改善を行うこと
自分や自分の家族がうけたい医療を行うこと
働きがいのある明るい職場を作ること



いざという時に・・・
勇気を出せるために・・・
日頃から準備をしておきましょう!!

防災・減災

「防災の日」(1960年・昭和35年制定)が1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災に由来することは有名な話ですが、もうひとつ…。

例年9月1日付近は、台風が多いとされる「二百十日(にひゃくとおか)」にあたり、「災害への備えを怠らないように」との意味も込められています。

※二百十日とは雑節のひとつで、立春を起算日(第1日目)とした210日目のこと。通常の年なら9月1日、うるう年なら8月31日

防災とともに、災害被害を軽減する「減災」に日頃から取り組むことも大切です。普段からできることから取り組んでみましょう。小さな取り組みが災害から自分や家族を守ります。

内閣府の防災情報のホームページの中に「減災のてびき」があり、7つの備えで災害被害を軽減することができますと紹介されています。7つの備えは以下の7つのポイントからなっています。今すぐこの「7つの備え」を始めてみませんか。

1. 自助、共助
2. 地域の危険を知る
3. 地震に強い家
4. 家具の固定
5. 日ごろからの備え
6. 家族で防災会議
7. 地域とのつながり

皆さんのお住まいの自治体でもいろんな取り組みがされていると思いますので、ぜひお尋ねになってみてください。

① AEDを持ってくる。

② 反応・普段どおりの呼吸がなければ、AEDの電源を入れる。

③ 電極パッドを貼る。

④ 心電図を解析する。

⑤ 除細動(電気ショック)を行う。

⑥ AEDのメッセージに従って、心肺蘇生法を続ける。

◆AED(自動体外式除細動器)とは?◆

心室細動という不整脈(心臓が細かく震え、血液を全身に送れない状態)を起こしている場合に、心臓に強い電流を一瞬だけ流すことで、心臓を正常な状態に戻す機械です。



ボタンを押すか、ふたを開ける。

袋を開封して電極パッドのシールをはがし、皮膚にしっかりと貼り付ける。

電極パッドを貼りつけると傷病者から離れるように、または解析ボタンを押すようにメッセージが流れ、解析が始まる。(誤作動の原因となるので、決して傷病者に触れない。)

除細動の必要があれば充電が開始される。充電完了メッセージの後に点滅しているボタンを押しますが、誰も傷病者に触れていないことを確認してから、ボタンを押す。

胸骨圧迫30回と人工呼吸2回のサイクルを約2分ごとに交代しながら、救急隊などに引き継ぐまで、または傷病者に呼吸や目的のある仕草が認められるまで続ける。



～救急講習会を開催しています～

※要予約&定員に限りがあります※

当院リハビリ室(春回会ビル6F)にて、人工呼吸・心臓マッサージ・AEDを長崎市消防局の救急救命士から直接教えてもらえる「救急講習会」を開催しています。開催日時等のお問い合わせ、またご予約は受付窓口又は下記へご連絡ください。
【井上病院事務管理部 山瀬 TEL095-845-1014・FAX095-845-3600】